



1年間を振り返る活動報告

3月28日、地域おこし協力隊及び集落支援員の活動報告会を中央公民館で開催しました。

地域おこし協力隊4名は、町の加工品の販売、町の魅力の再発見、移住定住、ふるさと納税等の活動について、移住者としての視点で報告。

また、集落支援員2名は、堀内・富長地区での交流活動や、町内会の現状や課題等について報告しました。約50名の来場者は、地域の未来につながる話に真剣に聞き入っていました。



舟中テニス部 初の全国へ

3月24日、舟形中学校ソフトテニス部の豊岡大和さん(長者原)、飯田達也さん(舟形第3)が、町長に表敬訪問を行いました。2人は3月26日から行われるソフトテニス連盟主催の全国大会に、山形県選抜チームとして参加。これは、舟中テニス部史上初の全国大会への進出となります。

飯田さんは「初めての全国大会で緊張すると思うけれど、それを乗り越えて普段通りの楽しいテニスをしたいです。」と話していました。



舟形の魅力が大集合

3月19・20日、舟形町観光物産センターめがみで、2日間限定の「まちカフェ」が開催されました。初めてのイベントのこのカフェでは、鮎やマッシュルームの加工食品と舟形スイーツが大集合。手作り雑貨や工芸品の販売のほか、マッシュルームのつかみどり大会なども行われ、たくさんの来場者でにぎわっていました。

会場にはめがみちゃんも駆けつけ、子どもやお年寄りと一緒に記念撮影するなど大人気でした。



東部地区ふれあい卓球大会

3月13日、東部地区ふれあい卓球大会が、生涯学習センターで開催されました。子どもからお年寄りまでの参加者約30名は、リーグ戦とランク別のトーナメント戦を行い、優勝を目指して戦いました。

会場には笑顔があふれ、卓球を通して、世代を越えた勝負と交流を楽しんでいました。



いつまでも仲良く

3月9日、箒木を使ったほうきづくりが、沖の原公民館で行われました。これは、沖の原地域の女性たち5名の「仲良し会」が行なっているものです。

「いつまでも仲良くしたいという想いで、みんなで食事をしながら楽しく集まっています。」と話してくれました。



フナベジドレサラダ

3月7日、YTSの情報番組「春もん!」の取材のため、井沢愛巴アナウンサーと取材班が町を訪れました。収録は、町産の食材を使ったサラダを作ることが目的です。

(有)舟形マッシュルーム、奥山恵司さん(福寿野)のうい、佐藤博さんとマサ子さん夫妻(沖の原)の行者にんにくの生産現場を取材した後に調理。井沢アナが「フナベジドレサラダ」と命名しました。この様子は、3月21日に放送されました。



輪投げを通した健康づくり

3月5・12・19日、農村環境改善センターで「堀内地区 輪投げを通した健康づくり教室」が行われました。教室は町の地域づくり総合支援事業を活用したもので、参加者は健康増進と優勝を目指して、輪投げやペーパーボール投げゲームを行いました。



かもしかクラブ修了式

3月4日、ほほえみ保育園でかもしかクラブの修了式が行われ、リーダーの木島真紀さん(洲崎)から修了証が一人ひとりに手渡されました。

木島さんは「活動は終わりではありません。これからも事故なく、友だちと仲良く過ごしてください。」と園児たちに話していました。

Old Kyu News(平成28年3月)



町の農業を盛り立てる

3月3日、5年の更新期限を迎えた認定農業者10名、新規1名に町長から認定証が手渡されました。これは、農業の安定経営と農業者の所得向上を目指し町が推進しているもので、国の農業政策等の支援が受けやすくなります。

3月1日現在、町の認定農業者は111名。農業経営改善計画(例:5年後の所得目標320万円など)を作成することが要件です。申請や相談は、町産業振興課農政班で随時受け付けています。

Old Kyu News(平成28年2月)



町ラージボール卓球大会

2月28日、第19回舟形町ラージボール卓球大会が、生涯学習センターで開催されました。

結果は次のとおりです。

部門	男子1位	女子1位
Aクラス	高橋保美(長沢第3)	眞見静子(舟形第4)
Bクラス	加藤義昭(富田)	叶内ゆき子(内山)
Cクラス	高橋和彦(長沢第3)	大場艶子(内山)
ふれあいダブルス	伊藤春雄(内山)	叶内悦子(内山)



森 富広町長が初登庁

2月26日、森 富広 新町長が初登庁しました。

森町長は、職員への訓示で「私は選挙戦で『住んでいる人が誇れるまち、豊かな舟形』をつくりますと約束しました。それを実現するために、この4年間がんばっていきます。しっかりと話し合うことが大事で、話を聞いて、町政につなげるもの、町として考えていくものを判断していきます。一丸となって、私と一緒に一生懸命働いてください。」と述べました。



山形もがみ産直市

2月25日、山形もがみ産直市が山形銀行仙台支店前で開催され、(株)舟形町振興公社がラズベリーケーキや漬物などをPR販売しました。

今年で交流10年目を迎える仙台市立五橋中学校生徒の保護者の方々も立ち寄られるなど、たくさんの方にお越しいただきました。



長沢子ども遊々塾

2月20日、長沢交流センター近くの日の出山で、冬期自然体験教室「長沢子ども遊々塾」が行われました。

これは、長沢子ども遊々塾実行委員会が主催するもので、参加した親子など約70名は、そり遊びやチューブすべり等、雪遊びを存分に楽しみました。



ソフトテニス体験教室

2月15・24日、B&G海洋センターで舟形町テニス協会(会長 大場政人さん)によるソフトテニス体験教室が行われました。

教室は、子どもの頃に様々なスポーツを経験することが、将来のためになるとの観点から開催。子どもたちは、初めてのソフトテニスを楽しんでいました。



町囲碁・将棋大会

2月11日、町囲碁・将棋大会、少年少女オセロ大会が中央公民館で開催され、105名が参加しました。囲碁・将棋大会は、段位等のレベルに合わせたのクラスに分かれ、対局を行います。

参加者は、日頃研鑽を積んだ成果を存分に発揮し、時を忘れて対局を楽しんでいました。



除雪ボランティアが活躍！

2月10～11日、東北福祉大学交流連携事業で大学生3名が来町し、幅町内会の一人暮らしの高齢者宅などで、除雪作業や交流を行いました。

また、舟形中学校野球部の生徒が毎週金曜日に高齢者宅の除雪作業を行うなど、町内各地で除雪ボランティアが活躍しています。



最上地域農林水産業若者賞を受賞

2月4日、八鍬良則さん(紫山)が最上地域農林水産業若者賞を受賞しました。

八鍬さんは「もがみねぎ若手研究会」で、アドバイザーとしてほ場の巡回指導や栽培技術の向上を支援。若手生産者のリーダーとして地域の活性化に貢献し、技術や収量・品質も高い評価を得ていることなどが認められての受賞です。八鍬さんは「土がすべての基本で、安全・安心なものをつくるのが大切です。」と話してくれました。



リングロー(株)住民説明会

中古パソコンの販売等を行うリングロー(株)(東京都)から、長沢交流センターを利用したいという申し出があり、2月3日に生涯学習センターで住民を対象にした説明会が開催されました。

会では、これまでの経緯や事業などを説明。参加者からは「どのように収益を上げるのか、数年間の事業計画を出してほしい」、「応援するためにも、みんなの意見を吸い上げる場をつくってほしい」といった意見が出されました。



町の農産物の魅力を探る

2月1・8・18日、町農産物等販売促進研修会(全3回)を中央公民館で開催しました。講師には(株)ナチュラルアートの代表 鈴木誠さんを迎え、「農産物等の販売促進を目指して～舟形町の魅力を探る～」と題し、全国の事例紹介のほか、町の農業の未来について参加者と意見を交わしました。



立志式

1月29日、舟形中学校で立志式が行われ、2年生が、将来への決意を漢字一文字で披露しました。

「挑」の字を選んだ沼澤真緒さん(内山)は「少年漫画の編集者やデザイナーになりたい。何かをする前にあきらめて、後悔を残さないように挑戦したい。」と発表しました。



安全な雪下ろしを学ぼう

1月27日、長岡技術科学大学教授の上村靖司さんを講師に迎え、県が雪下ろし安全講習会を生涯学習センターで開催しました。会では、転落事故を防止するためのロープの縛り方や安全帯の使い方等、安全確保について学習後、スマッシュ長沢の屋根で安全帯を使っの雪下ろしを行いました。



山形県青少年補導連絡協議会表彰

1月25日、町青少年育成推進員の伊藤光信さん(野)に、山形県青少年補導連絡協議会から感謝状が贈呈されました。

伊藤さんは、平成17年から26年まで最上広域青少年指導センターの指導委員として、青少年の社会参加への支援を行ってきました。感謝状は、長年にわたり、青少年の非行防止と健全育成のために尽力してきたことが認められ、贈られたものです。



豪雪対策本部を設置

1月22日、1月中旬からの大雪により町内における積雪深が150cmに達したことから、町では町民の安全を確保するため「舟形町豪雪対策本部」を設置しました。

【町内の主な被害】

- ・自宅1階屋根の除雪中に落下し負傷。(1名)
- ・石油タンクからの配管が雪により切断し、灯油が流雪溝に流出。(1件)
- ・雪の重みにより、小屋の屋根が落下。(2件)



エコキャップ回収運動に感謝状

1月21日、舟形中学校JRC団を中心としたエコキャップ回収運動に対して、ネットヨタ山形(株)から感謝状が贈呈されました。

後期委員長の浅沼花音さん(長沢第1)、副委員長の伊藤駿さん(内山)、前期委員長の佐藤つなみさん(堀内)は、「病気の子どもたちなどの役に立てることがうれしいです。たくさん集めることができた達成感もあります。」と話してくれました。



町消防安全祈願祭・出初め式

1月10日、町消防安全祈願祭が町中央公民館で行われ、今年一年の無事故・無火災を祈願。その後に行われた出初め式では、舟形町消防団各分団による分列行進と祝賀一斉放水を舟形本町通りで実施しました。町の安全・安心な暮らしを守るため、私たちも防火意識を高めましょう。



舟形八幡神社御柴灯

舟形八幡神社で伝統行事「御柴灯」が1月7日に行われました。八幡神社では、毎年1月の「七草」の日に今年の安全祈願と五穀豊穡を祈願して御柴灯を行なっています。年末から1月中旬にかけて町内各地で御柴灯が行われ、それぞれ伝統行事として受け継がれています。



舟形町ゴルフ愛好会「水曜会」が社会福祉協議会に寄付

舟形町ゴルフ愛好会「水曜会」(代表 柿崎秀治さん)が12月28日に町長室を訪れ、町の福祉に役立ててほしいと舟形町社会福祉協議会に4万円を寄付をいただきました。水曜会は、県民ゴルフ場でゴルフ技術の向上と健康増進を目的に活動しているゴルフ愛好会です。



新しい選挙管理委員が決まる

選挙に関する事務や直接請求に関する事務を行う舟形町選挙管理委員会委員が新たに決まり、12月22日に当選証書附与式が行われました。次の方々が委員となりました。任期は4年です。

委員)◎小野 満さん ○植松 敦子さん
小國 友昭さん 沼澤 仁さん
補充員)伊藤 良一さん 澤内 修一さん
伊藤 義範さん 稲毛 陽子さん
◎委員長、○職務代理者



手倉森湿原が重要里地里山に選定

手倉森湿原が、環境省が実施する「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定されました。これは、命を育む豊かな里地里山を、次世代に残していくべき自然環境の一つと位置づけ、地域のくらしや営み、保全活動等の取り組みを通じて守られてきた豊かな里地里山を、広く周知することが目的です。

ブナの実21(会長 佐藤和夫さん)と本堀内保全会(会長 加藤和利さん)のみなさんが連携し、草刈りや、絶滅危惧種であるハッチョウトンボ、トキソウ等の動植物の生育環境の保全改善など、長年湿原を守り続けていることが認められ選定されました。佐藤さんは「いやしの里づくりを目標に、約20年前から地域の良さを探すために、調査を続けてきました。手倉森湿原は当初荒れた山田でしたが、調査の結果珍しい植物や昆虫が生息していることがわかり、保全再生活動を始めました。地域のみなさんと一緒に湿原までの道路の草刈りや整地、木道整備などを行い、自然観察ができる環境を共に作り上げてきました。今後、環境やその保全に興味を持ち、熱中する人が一人でも増えてくれればうれしいです。」と話していました。



第2回雪見読書会

12月19日、第2回雪見読書会が舟形小学校の図書室で行われました。読書会では、小学校の母親委員会のみなさんと高校生ボランティアふなっ子による大型絵本の読み聞かせや、ハンドベルの演奏などが行われ、参加した親子は夢中になって聴きっていました。



観光物産センターめがみでクリスマスパーティー

12月19日、舟形町観光物産センターめがみでクリスマスパーティーが開催されました。参加した親子連れクリスマスケーキのデコレーションやツリーの飾りつけ等を行ない、25日のクリスマス本番を前に楽しい時間を過ごしていました。



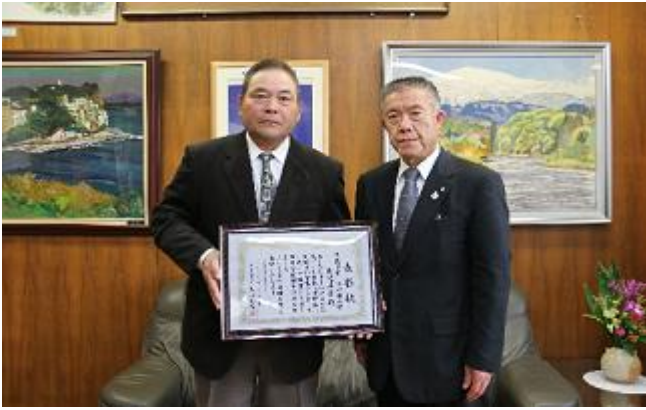
しめ飾りづくりで年をしめる

12月16～22日、町内4会場で伝統文化継承を目的とした「シニア元気塾 しめ飾りづくり」が行われました。参加者は藁細工愛好会のみなさんの指導で、わらを編んでのしめ縄づくりから飾り付けまでを一貫して製作。「自分で作ったしめ飾りは格別。特別な気持ちで新年を迎えられそう。」、「何十年ぶりに縄ないをした。来年は孫と一緒に参加してみたい。」といった感想があがっていました



みんなで地域の安全を守ろう運動

12月15日、町内3金融機関前で町防犯協会、最上地区交通安全協会舟形支部、町交通安全母の会、町消費生活団体の会員による「みんなで地域の安全を守ろう運動」が実施され、振り込め詐欺に対する注意喚起や、交通事故防止に反射材を配布されました。



おいしい米づくりで最優秀賞

12月14日、オールやまがた米づくり日本一運動最上地域本部食味コンクールの最終審査が行われ、渡辺勝善さん(紫山)が「つや姫」の部で最優秀賞を受賞しました。このコンクールは最上産米の評価向上を目的とし、書類や食味成分分析値等による一次審査、実食による最終審査が行われます。各部門上位3点が県のコンクールに出品されます。

渡辺さんは「今後もおいしい米づくりを頑張っていきたいです。」と話していました。



(有)舟形マッシュルームが県知事賞

(有)舟形マッシュルームが、エコエリアやまがた推進コンクールで最優秀賞(山形県知事賞)を受賞しました。この賞は、環境保全と農業に対する県民理解を深め、環境保全型農業の拡大による地域活性化を図ることが目的でつくられました。

マッシュルーム栽培で農薬を使用せず、規格外も含めて全ての生産物を商品化していることや、廃菌床を堆肥化し、地域の田畑に還元している取り組みなどが評価されての受賞です。



ふなっ子が「愛の鳩賞」を受賞

高校生ボランティア「ふなっ子」が愛の鳩賞を受賞し、12月14日、山形メディアタワー(山形市)で贈呈式が行われました。これは、公益財団法人山新放送愛の事業団、山形新聞と山形放送が主催し、地域福祉に尽くす個人・団体を表彰しているもので、ふなっ子は子どもたちとの交流や福祉施設でのボランティア活動が認められ、この度の受賞となりました。

代表の大場裕太さん(野)は「これからも地域に根差したボランティア活動を続けていきたいです。」と話してくれました。



そば打ち体験で介護予防

12月10日、大平公民館で介護予防教室が行われ、にこにこクラブの6名が参加。血圧測定等を行なった後、そば打ち蕎麦会の大場義次さんを講師にそば打ち体験をしました。このクラブは大平地区の65歳以上の方が参加し、健康寿命を延ばすことを目的に毎月和気あいあいと活動しています。



近江正人氏講演会

12月10日、中央公民館で行われた舟形大人塾2015公開講座に、約50名が参加しました。

講師には元新庄南高等学校長の近江正人さんを迎え「松田甚次郎に学ぶこれからの地域づくり」と題し、新庄市鳥越村の「義農 松田甚次郎」について講演を行いました。

参加者の一人は「松田甚次郎の若者や女性を巻き込むやり方やお年寄りの話を聞く姿勢は、これからの地域づくりの参考になると思いました。」と話していました。



ほなみ「光のしずく」点灯式

12月5日、地域密着型複合施設ほなみで「光のしずくタワー」点灯式が行われました。あいにくの雨模様でしたが、100名を超える訪問者は光の織りなす幻想的な彩りに目を輝かせていました。12月中の午後4時から10時の時間帯に点灯、大晦日はオールナイトで点灯予定です。



生の落語を間近で堪能

12月5日、福寿野町内会主催の歳末たすけあいチャリティ「落語とルリアール ジョイントコンサート」が富長交流センターで行われました。約60名の参加者は伝統芸能の落語を間近で堪能するとともに、オカリナとエレクトーンの音色に聞きほれていました。



サトシンさんがやってきたよ

12月5日、「わたしはあかねこ」「おてて絵本」などの代表作がある絵本作家 サトシンさんを講師に迎え、読み聞かせ講演会「お話で心に寄り添う」が中央公民館で行われました。

サトシンさんとのやりとりの中で子どもたちが即興でお話を作るなどして、参加した親子約140名は楽しい時間を過ごしました。お母さんの一人は「もっと本を読んであげて、コミュニケーションをとっていきたいです。」と話していました。



舟形町の農業の明るい未来のために

12月3日、舟形町認定農業者協議会(会長 星川俊則さん)が町長に要望書を提出しました。これは、環太平洋パートナーシップ(TPP)協定交渉が大筋合意に達したものの、影響が不透明な中にある農業者の不安軽減と、若い後継者が夢を持てる継続可能な農業を実現するために支援を求めたものです。

主に、園芸栽培への転換、各種補助事業の継続、農地集積の支援などについて要望されました。



東北公益文科大学生と意見交換

12月3日、舟形町まちづくり審議会が東北公益文科大学(酒田市)を訪問しました。地方創生に向けた大学の取り組みを聞いたほか、准教授の佐野 治さん(西堀)のゼミに所属している学生12名と意見交換をし、地域の課題や地元回帰などについて意見を交わしました。



町代表監査委員辞令交付

12月1日、舟形町代表監査委員の辞令交付が行われ、渡邊敬子さん(一の関)が新たに任命されました。監査委員は町の財務に関する事務執行や経営にかかわる事業管理を監査しており、毎月の出納検査や決算審査等を行います。任期は4年間です。



町道除雪安全祈願祭

11月25日、町道除雪安全祈願祭が十二河原河川公園で行われ、除雪作業の安全と無事故を祈願しました。

祈願祭には、大型のロータリ除雪車12台と除雪ドーザ2台のほか、除雪に関わる業者や町関係者など30名が参加しました。



漫才で男女共同参画社会を学ぶ

11月23日、舟形町パートナーズフェスティバルが、テレビでおなじみの夫婦漫才師 林家ライス・カレー子さんをお迎えし「ライス・カレー子の爆笑男女共同参画漫才～人生互いに思いやり～」と題して中央公民館で開催されました。

町が3月に策定した男女共同参画推進計画に基づき、男女共同参画社会実現に向けた啓発と学習活動の一環として行なったもので、参加者は二人の掛け合いを大いに楽しみました。



わら細工教室で文化の継承

11月17日、生涯学習センターでわら細工教室が行われました。これは、藁細工愛好会のみなさんが講師となり毎週火曜日に開催しているものです。講師の八鍬朝吉さん(内山)は「この辺りは稲作文化で、昔は何でも藁で作りました。この文化を継承していきたい。」と話してくれました。



ふながた家新聞コンクール

11月12日、第11回ふながた家族新聞コンクールの表彰式が中央公民館で行われました。これは、家族の絆を深め、考える力と表現力を身に付けてもらおうと町教育委員会と山形新聞社、山形新聞舟形専売所(所長 鈴木高規さん)が毎年開催しているもので、28名の児童が表彰されました。



「スマッシュ長沢」が開所

11月11日、旧長沢保育所で障がい者多機能型事業所「スマッシュ長沢」の開所式が行われました。これは、特定非営利活動法人もがみ福祉ネット(理事長 高橋 剛さん)が運営するものです。障がいのある求職中の方や、町外への通勤に苦労している方が働ける場として期待されます。



町の交通安全のために

11月10日、全国共済農業協同組合連合会山形県支部がカーブミラー4基を町に寄贈しました。これは、町の交通安全に役立ててほしいと毎年贈られているもので、今回で累計156基となります。今後、町内各地の危険な個所に設置し、交通事故防止のために使わせていただきます。



シニア元気塾ドッジボール大会

11月9日、シニア元気塾が舟形町農村環境改善センターで開催されました。富長地区と堀内地区の大人と子どもで構成されたチームが、ドッジボール大会や紙飛行機飛ばし大会で交流を図りました。その後、参加者に新そばが振る舞われ、秋の味覚を存分に堪能していました。



山形県チームの優勝に貢献

10月31日から11月1日に行われた、第55回奥羽横断駅伝競走大会の各県対抗の部に、山口大陽さん(町教育委員会)が山形県代表として出場しました。この大会は、岩手県西和賀町から秋田県由利本荘市まで東北を横断する伝統ある駅伝競走です。その大会で、山口選手は2日間とも区間1位と力走し、山形県チームの優勝に貢献しました。



地域を守る新しい消防車

10月30日、小型動力ポンプ付消防積載車の引渡式が舟形町役場で行われ、町消防団第2分団第2部(長沢第1・2・3)と第3分団第5部(舟形第1・2)に新しい消防車が引き渡されました。加藤憲彦団長は「地域の安全安心のために活用ください。」と話していました。



舟形小・中学校で文化祭

10月25日、舟形小学校で学習発表会「めがみDreamフェスタ」が行われました。児童たちは劇や太鼓、合唱などの発表を披露し、保護者など大勢の観客の前で日頃の練習の成果を発揮。大きな拍手を受けていました。

24日には舟形中学校で「奏～翼広げた僕達の想い～」をテーマに舟友祭が行われ、合唱や3年生によるダンス発表、バザーの他、生徒たちが製作した作品などの展示が行われました。



青少年健全育成県民大会で表彰

10月24日、山形県青少年健全育成県民大会及びいじめをなくそう高校生サミットが新庄市民プラザで開催されました。そこで、町青少年育成推進員の伊藤光信さん(野)が、地域活動や高校生ボランティアの指導などの功績が認められ、表彰されました。

また、高校生ボランティア「ふなっ子」の代表 佐藤愛佳さん(舟形第1)と武田瑠奈さん(馬形)、大場裕太さん(野)も参加し、県内各地の高校生と活発に意見を交わし、交流を図りました。



カレーの会3周年記念式

10月24日、カレーの会(会長 叶内悦子さん)3周年記念式が生涯学習センターで行われ、参加者は食事や歌謡ショーを楽しみました。

これは内山地区で始まった活動で、一人暮らしの高齢者の方などが外に出て交流できる機会づくりとして行われています。



災害に備えて

10月24日、紫山地区(第4分団第7部管轄)を会場に、舟形町総合防災訓練が行われました。訓練は、強い地震による火災が発生したことを想定したもので、避難誘導訓練や消防ポンプ車が出動しての火災防御訓練、消火器の使い方を確認する初期消火訓練などを行いました。

紫山町内会長の八鍬裕美さんは「訓練で学んだことを、参加できなかった人にも伝え、万一来てたら備えましょう。」と話していました。



山形県を代表して皇居に献納

10月23日、皇居において新嘗祭(にいなめさい)の儀に供する献穀献納式が執り行われ、豊岡 学さん(長者原)が精米(つや姫)1升、信夫正雄さん(富田第2)が精粟(虎の尾)5合を、山形県を代表して献納しました。

今回の献納は町として55年ぶりとなる栄誉で、豊岡さんの精米と信夫さんの精粟は、献穀物の確認を行なっている神職の方から「舟形産の米と粟は選別が良く、きれいである。」とのお褒めの言葉をいただきました。

新嘗祭は二千数百余年の歴史があり、毎年11月23日に皇居内の神嘉殿(しんかでん)で行われています。これは、天皇陛下が新穀を皇祖(こうそ)はじめ神々にお供えになり、その年の五穀豊穰について神恩を感謝された後、陛下自らも新穀をお召し上がりになる宮中恒例祭典の中で最も重要なものです。天皇陛下自ら栽培された新穀もお供えになります。古くは陰暦11月の中の卯の日に行われたもので、昭和23(1948)年から、この日が「勤労感謝の日」として国民の祝日となりました。



ヴァイオリンコンサート

10月18日、ヴァイオリンコンサートがヴァイオリン奏者の池田敏美さんとピアノ奏者の田中奈織美さんを迎えて、中央公民館で行われました。参加者約200名は二人の奏でる情感あふれる柔らかな音色に、時が経つのも忘れて聴き入っていました。



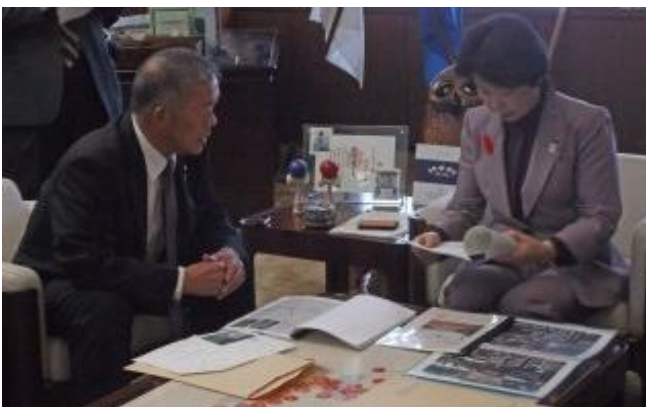
情報公開審査会

10月15日、9月議会にて同意を得ました情報公開審査会委員3名に辞令が交付されました。同審査会は、公文書の開示請求に対する決定について行政不服審査法に基づく不服申立てがあった場合、開示、非開示決定の可否を審議するために設置しています。任期は4年間です。



光生園40年の歩み

10月10日、障がい者支援施設 光生園で移転前最後となる文化祭が行われました。当日は、利用者と職員が共同で制作した作品の展示や新庄市関屋若連による新庄祭囃子の演奏、模擬店のほか、光生園が歩んできた40年の歴史をまとめたスライドショーなどが行われ、約300名の来場者は思い出を振り返りながら文化祭を楽しみました。昭和50年の設立当時から入所されている笹原 清さんは「この場所で最後の文化祭のため、思い出に残るものにしたかったです。」と話してくれました。



豪雨被害の早期復旧要望書を県へ

10月6日、奥山知雄町長は八鍬太議長などと吉村美栄子県知事を訪問し、平成27年9月関東・東北豪雨災害による公共土木施設等の早期復旧について要望書を提出。特に豪雨対策のための河川土砂の浚渫、決壊した三光堰頭首工の早期復旧、若鮎まつりへの被害に対する財政的支援等を求めました。



芸術鑑賞教室

10月6日、豊かな心の醸成と情操教育を目的とした芸術鑑賞教室が、舟形小中学校の児童生徒を対象に行われました。今年は、山形県警察音楽隊が子どもたちでも親しみやすい音楽を演奏したほか、楽器の説明や防犯についてのお話もあり、みんな夢中になって聴き入っていました。



“縄文”を体験

10月4日、中央公民館で縄文体験講座が行われ、山形県埋蔵文化財センターの齊藤主税さんが「縄文人は何を食べたの?」と題し講演。その後、参加者はドングリ粉やクルミを混ぜた縄文クッキーを作りました。「うっすらドングリの味もして、思いのほかおいしかった」と好評でした。



ノルディックウオーキング

10月3日、町教育委員会主催のノルディックウオーキングin舟形が行なわれました。このウオーキングは、全身の筋肉をまんべんなく使うことによりエネルギー消費を促進するなどの効果があります。今回はふながた若あゆ温泉をスタートし、木々が彩る初秋の景色を楽しみながらのウオーキングとなりました。



秋の実りに感謝

9月30日、仙台市立五橋中学校の野外活動実行委員など2年生9名が、稲刈り体験に町を訪れました。これは、5月の野外活動時に沖の原の佐藤レンタル農園で田植えしたもので、管理して下さった佐藤勇さんや地域のみなさんが稲刈りを指導しました。生徒たちは初めての手刈りに苦勞しながらも、収穫のよろこびを実感しているようでした。また、刈った稲を束ねる技術など、地域のみなさんの熟練の技に目を輝かせていました。



ほほえみ大運動会

9月19日、舟形ほほえみ保育園運動会が舟形小学校のグラウンドで行われました。園児たちは徒競走や親子競技、お遊戯などを一生懸命がんばりました。会場は、応援に駆けつけた地域のみなさんからの大きな声援と笑顔に包まれていました。



長寿のお祝い

9月17日、えんじゅ荘にて、今年数えて100歳を迎えられた小関ヤスエさん(長者原)に内閣総理大臣から、数えて99歳を迎えられた大場サワノさん(長沢第1)と伊藤貞藏さん(大平)には県知事から、それぞれお祝いが贈られました。3名を代表して伊藤さんが「ますます元気で生活していこうと思います。」とお礼の言葉を述べました。

また、18日には中央公民館で喜寿の方31名と金婚式を迎えた9組のご夫婦をお祝いする舟形町敬老祝賀式が行なわれました。



亜炭パネル展を開催

9月16日から、「舟形の亜炭パネル写真展」が歴史民俗資料館で開催されています。

大正時代から昭和30年代にかけて町の一大産業であった亜炭。戦時下や高度経済成長の時代、エネルギー資源として欠くことのできないものでした。町を代表する歴史であり、将来に伝えていかなければならないものの一つです。

▼期 間／11月1日(水)まで

▼問い合わせ／舟形町中央公民館 ☎(32)2246



ふれあい育児の広場で芋煮会

9月11日、ふれあい育児の広場の芋煮会が保健センターで行われ、10組の親子が参加。前日未明に降り続いた大雨の影響で屋内での開催となりましたが、子どもたちは元気いっぱい。みんなで作った芋煮を食べると「とてもおいし〜い」と笑顔があふれていました。



議会で若鮎まつりをPR

9月10日の定例議会で10名の町議会議員と町長をはじめ職員全員が「ふながた若鮎まつりTシャツ」を着用し、まつりをPRしました。

これは、議員のみなさんが「若鮎まつり」を盛り上げようと、平成21年から始めた企画です。まつりの主役「若鮎」が跳ねるイラストのTシャツを着用したみなさんは、今年で35回を迎える若鮎まつりの盛況を願っていました。



初めての通学合宿

9月3～5日、下長沢地区の小学校4～6年生を対象に、通学合宿が行われました。これは、子どもたちに生きる力を身に付けさせることや地域活性化などを目的として、町教育委員会が今年初めてモデル事業として実施したものです。

児童たちは生涯学習支援センターに宿泊し、炊事や掃除などをしたり、地域でもらい湯をするなどしました。児童の一人は「話したことがない地域の方と話ができてうれしいです。」と話してくれました。



子どものやる気を育てるには

9月1日、中央公民館で町青少年育成町民会議及び町PTA合同研修会が行われ、約60名が参加しました。研修では、山形県家庭教育アドバイザーの伊藤なおみさんが「子どものやる気を育てる親のかかわり」と題して講演。子どもの気持ちを聴き、勇気づけるためにどうすれば良いかなどについて、グループ形式でワークショップを行いました。

また、花いっぱい運動コンクールの表彰式も行われ、幅町内会が優秀賞を受賞しました。



決算審査の意見書提出

8月31日、平成26年度決算審査意見書を、星川基監査委員と斎藤好彦 監査委員が奥山知雄町長に提出しました。これは、会計年度毎に作成した決算関係書類について、計数の正確性と予算執行の合法性や効率性、財政運営の健全性などを審査したものです。



はっけよーい、のこった

8月28日、舟形小学校相撲場で1～3年生による第3回校内相撲大会が行われました。児童たちは学年ごとに東西に分かれ、個人戦の勝敗による学級対抗で競い合いました。また、3年生による抜き相撲では、「3人抜き」を目指してそれぞれ全力を出し奮闘。

力士たちは、家族やほほえみ保育園の園児からの大声援を受けて、力の限り勝利を目指してがんばりました。



奉納さばね山相撲大会

8月24日、奉納さばね山相撲大会が猿羽根山相撲場で行われ、舟形小学校の4～6年生の男女139名が参加。竹で作られた御幣の拝戴を目指して熱戦を繰り広げました。

この大会は猿羽根山地蔵尊に奉納する伝統行事で、約300年前に力自慢の男たちが相撲を取ったことが始まりとされています。



パステルアート教室

8月22日、舟形町観光物産センターめがみで「パステルアート教室」が行われ、約10名の方が参加しました。

この教室は日本パステルポップアート協会の阿部真由子さんが主催しているもので、この日は金魚と水風船を題材とした作品を制作しました。参加者からは「初めてでも簡単で、とても面白かったです。」と好評でした。



珍しいナスが発見

8月11日、齊藤重年さん(舟形第3)の畑で、珍しい大きなナスが発見されました。まるでカボチャのように大きなナスは重量感たっぷり。いくつも連なっているかのようです。齊藤さんは「糞の堆肥と水を毎日たっぷりと与えているから、大きくなったのかな。」と驚いていました。



ビーナス塾が開講

8月4日～6日、舟形中学校で夏季休業を利用した集中講座「ビーナス塾」が行われました。

これは、3年生への学習の意識づけと学力向上などを目的とした学習会で、山形大学の学生2名が教育ボランティアとして、生徒たちのわからないところをわかりやすく解説していました。今後も長期休業期間中に行う予定です。

生徒たちは「勉強がはかどりました。また参加したいです。」と意欲を見せていました。



長沢遊々塾でカッパ遊び

8月2日、長沢子ども遊々塾が、生涯学習センター裏を流れる小国川で行われました。

これは、長沢親和会や婦人会、児童の保護者などの協力で行われている自然ふれあい体験で、今年で11年目になります。参加した児童34名は、ゴムボート下りなど夏の川遊びを楽しみました。



竹川美子歌謡ショー

8月2日、ふるさと演歌「縄文炎祭」発売記念の竹川美子歌謡ショーが、生涯学習センターで行われ、町のみなさんなど約200名が参加しました。

この曲は「縄文の女神」と「縄文炎祭」をテーマにした情熱的な歌で、参加者からは「町おこしにつながると良いですね。」と好評でした。

Old Kyu News(平成27年8月)



麻布地区サマースクールin舟形町

8月1～3日、東京都港区が舟形町と「商店街友好都市との交流に関する基本協定」に基づき行なっている「麻布地区サマースクールin舟形町」で、参加者30名が舟形町を訪れ、薬師の森トレッキングや小国川での川遊び、そば打ち体験などを行い、舟形の夏を楽しみました。

Old Kyu News(平成27年7月)



「チーム舟中」中総体で躍進！

7月25・26日、山形県中学校総合体育大会が県内各地で開催され、熱戦が繰り広げられました。

柔道競技女子個人では、1年生の溝口葵さん(長者原)が70kg級で見事優勝。8月5日の第38回東北中学校柔道大会(宮城県)でも第3位という成績を収め、8月19日に開催された第46回全国中学校柔道大会(北海道)においては、ベスト16まで勝ち進みました。

また、相撲競技では団体1部で準優勝に輝き、1年生個人の部でも沼澤虹太郎くん(舟形第1)が準優勝、2年生個人の部で齊藤大夢くん(長尾)が3位、阿部航大くん(福寿野)が5位入賞を果たし、それぞれ8月5・6日の東北大会(秋田県)に出場。東北大会では強豪たちに真正面からぶつかっていきましたが、惜しくも入賞は逃しました。

同じく県大会へ出場した軟式野球、ソフトテニス、水泳、陸上競技では入賞こそありませんでしたが、選手たちは勝利を目指し、自分たちの持てる力を精いっぱい出しました。「チーム舟中」のこれからの活躍に期待しています。



消防操法最上支部大会

7月26日、第37回山形県消防操法最上支部大会が最上広域消防本部で開催され、最上8市町村から各1チームが代表として出場し、タイムと得点を競いました。

舟形町からは第4分団第7部(紫山)が出場し、約2ヵ月間練習した成果を遺憾なく発揮。町代表としては8年ぶりとなる準優勝という好成績を収めました。

〈操法要員〉 指揮者／八鍬良則
1番員／渡辺 勝
2番員／渡辺忠洋
3番員／松本和也
補助員／大場義洋



シルバー人材センターがボランティアで草刈り

7月26日、新庄・最上地域シルバー人材センター舟形班が、老人いこいの家「清流荘」周りの草刈りを行いました。これは、舟形班が毎年恒例で実施しているボランティア活動の一つで、当日は会員15名が参加。早朝から草刈り機や手作業での草むしりを行いました。



B&G川遊び体験交流会

7月25日、アユパークでB&G財団地域海洋センター東北ブロック連絡協議会主催の川遊び体験交流会が行われ、親子60名がカヌー体験など夏の川遊びを楽しみました。

参加者の一人は「これからも楽しめるように川を大切にしたいです。」と話してくれました。



明るいやまがた夏の安全県民運動出発式

7月21日、明るいやまがた夏の安全県民運動出発式が舟形町役場前駐車場で行われ、舟形町交通安全対策推進協議会や舟形町交通安全母の会の会員らが参加し、運動の重点を確認しました。

式では、ほほえみ保育園の鼓笛隊が演奏を披露し、出発式を盛り上げました。



山形県おすすめビューポイント33に選定

7月16日、山形県が主催する県内の観光振興や地域振興を目的とした「私をそこに連れてってー『やまがた景観物語』おすすめビューポイント33」に「猿羽根山から見る月山と最上川の眺め」が選定されました。

猿羽根山の舟形町農林漁業体験実習館周辺は、大きく蛇行する最上川と月山、葉山と鳥海山を見渡せる絶好のポイントです。舟形町が誇る、四季折々の絶景をご覧ください。



舟形大人塾2015始まる

7月9日、舟形大人塾2015(委員長 小國隆さん)の開講式が中央公民館で行われ、塾生約30名が参加。これは、歴史や文化を通して、町を見つめ直し、舟形町でどう生きるかを考えようと、6回シリーズで開催されるものです。

今回は、『国宝「縄文の女神」を故郷舟形に』と題し、舟形町学芸員の野村知義さん(東京都)から縄文の女神の活用について具体的な方策の提案があり、参加者と意見を交換しました。



短冊に願いを込めて

7月7日、子育て支援センターみらいでふれあい育児の広場が行われ、21組の親子などが参加し、七夕の日になんで短冊作りと飾り付けをしました。

今年の七夕の夜、織姫と彦星は無事に出会うことができましたでしょうか。



学校給食に天然鮎を

7月7日、釣り具メーカーのグローブライド(株)が主催する「ダイワ鮎マスターズ2015南東北地区大会」が小国川で開催され、東北一円と北関東、上信越などから約150名が参加。友釣りの腕を競いました。

釣れた鮎は舟形町教育委員会に寄付され、給食などで児童生徒へ振る舞われる予定です。



夏期非常召集訓練

7月5日、実栗屋地区(第6分団管轄)で夏季非常招集訓練が行われました。万が一に備えて、消防ポンプ車の迅速な出動や現場の状況に合わせた火災防御訓練、避難誘導訓練、消火器を使用した初期消火訓練などを行いました。

また、第4分団の水防訓練も実施されました。



縄文体験講座を開催

7月4日、歴史民俗資料館では縄文体験講座の開講式が行われ、25名が参加。舟形焼若あゆ薫風窯の金寛美さんを講師に、土器づくりが行われました。参加者は土粘土をこねて棒状にして積み重ね、見事な縄文土器を仕上げていました。

また、7月8日・15日には、舟形中学校の1年生49名が縄文勉強会と土器ランタンづくりを行いました。まずは西ノ前遺跡での暮らしの様子や縄文の女神がどのような状態で出土したかななどを、出土当時の映像を交えて学習。その後、縄文炎祭実行委員会(委員長 叶内昌樹さん)のみなさんを講師に、土器ランタンの制作に取り掛かりました。生徒たちは時間を忘れて作業に没頭し、縄文の文様をかたどった独創的な作品を制作しました。

さらに、7月8日には舟形小学校の図工クラブでも、粘土で縄文の女神を作成。児童の一人は「自分たちの手で縄文の女神を作ることができて、とてもうれしいです。」と話してくれました。

いずれの土器や土偶も、8月1日開催の縄文炎祭で野焼きされる予定です。



学童相撲大会東北大会出場決定

7月4日、第26回山形県学童相撲大会が酒田市相撲場で行われ、舟形相撲クラブが出場しました。6年生の部個人戦で星川梨玖くん(長者原)が3位入賞。5名で行う団体戦も3位の成績を収め、8月23日に宮城県で開催される第34回東北学童相撲大会への出場権を獲得しました。



音楽とワインの夕べ

7月3日、npo法人東北エコリサイクルネットワーク研究会主催のイベント「音楽とワインの夕べ」が農林漁業体験実習館で開催され、町のみなさんなど48名が参加。参加者はピアノ演奏を聞きながら、ワインアドバイザーの横山広信さんのおすすめのワインを堪能しました。



町の監査委員に星川 基氏

7月2日、舟形町監査委員への辞令交付式が行われ、星川基さん(舟形第3)が新たに任命されました。任期は7月1日～平成31年6月30日までです。

また、前任の林 恭司さん(洲崎)から引継ぎが行われました。林さん、4年間お疲れ様でした。



子どもの脳を守ろう！

7月1日、舟形小学校で家庭教育講演会が行われ、国立病院機構仙台医療センターの小児科医 田澤雄作さんが「子どもの脳が危ない～テレビ・ゲームが子どもの笑顔を奪う～」と題し講演。子どもの表情などを例に、メディア等が脳に与える影響の大きさを訴えました。



鮎釣り解禁

7月1日、小国川の鮎釣りが解禁となりました。当日はあいにくの雨模様で、気温と水温が上がらず厳しいコンディションでしたが、解禁を待ちわびた多くの太公望が早朝から小国川に集い、竿を出していました。

小国川では、7月5日に行われたシマノジャパンカップ鮎釣り選手権大会東北地区大会を皮切りに、各メーカーの鮎釣り大会が8月上旬まで開催されます。

▼問い合わせ／小国川漁業協同組合 ☎(32)2892



川をきれいに

6月28日、町内各地で「きれいな川で住みよいふるさと運動」河川一斉清掃が行われ、約600名が参加しました。前日からの大雨の影響で中止となった地区もありましたが、小国川など地域の河川を中心に、約1,900kgのゴミを収集しました。山や川の自然を日頃から守っていきましょう。



東北大会出場決定！

6月27・28日、第32回全日本少年軟式野球大会山形県予選が、荘内銀行・日新製薬スタジアムやまがた(中山町)で行われました。最北地区の代表として出場した舟形中学校野球部は、決勝戦で鶴岡第三中学校と対戦。特別延長戦までもつれ込む激闘の末、5対6で惜しくも敗れましたが、堂々の準優勝です。

8月15・16日に福島県で開催される東北少年軟式野球大会に、山形県代表として出場します。



光生園上棟式

6月16日、移転建設中の光生園で、竣工後の建物の安全を祈願する上棟式が行われました。祭祀の後に、厄災を避けるために行われた「餅まき」では、2斗2升の紅白の餅がまかれ、集まった地域のみなさんが両手に持ち切れないほど拾っていました。



世界のスーパーカーや懐かしの名車が舟形に集合

6月14日、「第4回ヒストリックカー&ノスタルジックカーミーティング in 舟形」(実行委員長 伊藤 宏さん)がアユパークで開催されました。

当日は、マクラーレンMP4-12C、ルパロン、スバル360スーパーデラックスなど、世界を代表するスーパーカーや昔懐かしい名車140台が勢ぞろい。普段はお目にかかれない車を一目見ようと県内外から集まった約15,000名が、名車の数々に魅了されていました。

会場では、今回初めて舟形町建設業協会(会長 伊藤 重さん)の協力により、ショベルカーやホイールローダーなどの働く車の展示や乗車体験が行われたほか、特産品販売ブースでは、焼き鮎などが販売され、参加者は舟形の味も存分に堪能していました。

また、前日には舟形町農林漁業体験実習館で食生活改善推進協議会(会長 沼澤紀美子さん)により郷土料理が振る舞われ、参加車のオーナーのみなさんが舌鼓を打ちました。



病送り

6月13日・14日、町内各地で病送りと、その人形作りが行われました。

病送りは田植えが終わった時期に、水稻と人々の無病息災を願い、町内各地で行われている伝統行事です。

一の関地区では、今年から病送りの後に餅つきが行われ、子どもたちは自分たちのついたつきたての餅の味を楽しんでいました。



舟形の玄関口をきれいに

6月14日、沖の原町内会(会長 稲毛巧さん)と青少年育成推進委員(委員長 沼澤啓さん)と高校生ボランティアサークル「ふなっこ」(代表 佐藤愛佳さん)が毎年恒例のボランティアを実施。舟形インターチェンジ付近の草刈とゴミ拾いなどを行いました。また、同日、学生たちは舟形駅の清掃も行いました。



音楽イベント「Vibeat vol.1」in 定泉寺

6月12日、「音と食の掛け合い"Vibe"を愉しむ」をコンセプトにしたイベント「Vibeat vol.1」が定泉寺の本堂で開催され、町民のみなさん48名が参加。

馬頭琴とホーミー奏者の岡林立哉さんが奏でるモンゴルの民族音楽などを聞きながら、県内産の食材を使った創作料理を楽しみました。

●vibeatとは？

vibe: 本能的に経験される特有の感情的な雰囲気のこと

eat: 食べる・飲む、口にする、取り入れる

beat: 音楽における構成要素、連続して続く打点

倍(バイ): 同じ要素を重ねて加え合わせる。



小学校校内マラソン記録会

6月10日、校内マラソン記録会が舟形小学校で行われました。

1・2年生は男女とも800m、3～6年生は1,000mの距離を、これまでの記録を塗り替えようと力走しました。沿道には家族や地域の方が集まり、たくさんの声援が児童たちに贈られていました。



力を合わせて頑張りよう

6月9日、舟形ほほえみ保育園で第20回ふれあいミニ運動会が行われました。

老人クラブ連合会(会長 大場和夫さん)のみなさんと年長児が赤黄青組に分かれて、まり入れや輪投げ、ボール送りリレー競技で交流を深めました。



小体連陸上競技大会

6月3日、第3回舟形町・大蔵村小学校陸上競技大会が舟形小学校グラウンドで開催されました。

舟形小学校と大蔵小学校の5・6年生153名が、男女100m、男子1,000m、女子800m、男女ソフトボール投げ、男女走り高跳び、男女走り幅跳び、男女400mリレーで競い合いました。



限界の壁を打ち破れ！！

5月24日、舟形小学校で春季大運動会が同校グラウンドで開催されました。今年のテーマは「完全燃焼！今こそ限界の壁を打ち破れ！！」です。

紅白に分かれた274名の児童たちが、赤組は矢口就翔くん、白組は大場康生くんの組頭を中心に、家族や地域の方々の大声援を受けて、勝利を目指して一生懸命がんばりました。



松橋わらび園がオープン

5月24日、松橋わらび園がオープンしました。午前8時の開始の合図とともに、来場者280名が一斉に園へ入場し、わらび採りを楽しみました。持参したはきごなどがまたたくまに一杯になっていました。

開園を待ちわびていたという仙台市の女性は、「夫に誘われて仙台から初めて舟形町に来ました。本当に良いわらびで、今から採るのが楽しみです。」と話していました。



山形県立保健医療大学実習報告会

5月18日～19日、山形県立保健医療大学の学生41名が、町内各地で、交通事情や家屋の状況などを確認する地区踏査と、介護予防教室での血圧測定やしゃんしゃん体操を行いました。

22日には、中央公民館で実習報告会が開催され、町民の方からは「学生は隅々までよく見ていると感心しました。しゃんしゃん体操は高齢者も簡単に出来そうだと思ったので、ぜひ自分もやってみたい。」などの感想が挙がりました。



議会選出の監査委員の辞令交付

5月22日、舟形町監査委員への辞令交付式が町長室で行われ、議会で選出された斎藤好彦(富田第2)さんが、5月1日付で新たに監査委員に任命されました。



山形大学フィールドワークin舟形

5月16～17日、堀内地区を拠点に地域づくり活動を展開している「ブナの実21」の指導により、山形大学エリアキャンパスフィールドワーク舟形教室が開催され、山形大学の学生16名が参加しました。

農村環境改善センターに寝泊まりしながら、2日間にわたり、堀内地区手倉森や堂ヶ沢でキノコの植菌活動と湿原の木道修繕作業などを実施。活動を通じて、地域づくりの手法を学習していました。



町から55年ぶりに献納

今秋に宮中で執り行われる「新嘗祭(にいなめさい)」の儀に供する献穀(けんこく)のうち精米(つや姫)と精粟(虎の尾)を、豊岡 学(長者原)さんと信夫正雄(富田第2)さんが山形県を代表して55年ぶりに献納することとなりました。

5月15日、斉田で神事のあと、生産者、奥山町長、農協・県関係者が参加して、田植えが行われました。



新緑の中をウォーキング

5月14日、舟形町B&G海洋センターによる健康ウォーキング教室が開催され、9名の町民の方が参加しました。

当日は風が強かったものの天候が良く、参加者は景色を楽しみながら6kmのコースをウォーキングしました。



かもしかクラブで交通安全のお勉強

5月14日、舟形ほほえみ保育園で、かもしかクラブが行われました。

今年初めて参加した年少児たちは、信号の色の意味やストップの約束などを、お兄さんお姉さんたちのマネをしながら一生懸命学びました。来月は道路に出ての実践となります。



仙台市立五橋中学校が来町

5月13～14日の2日間、仙台市立五橋中学校の2年生222名が、野外活動で舟形町を訪れました。当日は台風や早朝の地震などで心配されましたが、みんな元気に活動を行いました。

舟形での活動初日は、沖の原地区と紫山地区にあるレンタル農園で田植え体験を行いました。風が強く肌寒い中でしたが、裸足での田んぼの感触が新鮮だったのか、いたるところで歓声が上がっていました。今回植えたもち米とつや姫は、秋の五橋中収穫祭で振る舞われる予定です。

田植え終了後は、民泊先に移動しての民泊体験です。舟形町でのお父さんお母さんが、生徒たち一人ひとりをお出迎えました。「今年も五橋中の生徒たちが帰って来るのを楽しみにしていました。いろいろな話をして仲良くなりたい。舟形の良さを感じてくれればうれしいです。」と民泊先の家庭のお一人が話していました。

2日目は、町内3つの会場に分かれてのそば打ち体験です。蕎麦会(会長 大場義次さん)のみなさんが講師となり、手順に沿って実技指導してくれました。

自分たちの食べるそばは自分で作ります。美味しいそばを作るために、みんな真剣な表情。そばが茹で上がっていざ食べると、自分で打ったそばの味は格別のように、みんなの笑顔があふれていました。

2日間の最後に、秋の収穫祭や文化祭での再会を約束して、生徒たちは帰路につきました。



交通安全の願いをこめて

5月11日、舟形町役場前駐車場で春の交通安全県民運動出発式が行われました。

式には、舟形町交通安全対策推進協議会と最上地区交通安全協会舟形支部のみなさんが参加。町民の無事故・無違反を目指し、終了後すぐに交通安全キャラバンに出発しました。



熊野神社奉納祭が行われました

5月5日、長尾町内会で熊野神社奉納祭が行われ、リヤカーに乗せた華やかな御神輿を子どもたちが元気いっぱい引っ張り町内を練り歩きました。

五穀豊穡と家内安全を祈願した祭りが、今年も大切に継承され、長尾地域全体の活力となっているようです。



そば打ちの「技」を継承

4月29日、生涯学習センターでそば打ち講座が開催されました。

これは、舟形のそば打ち文化の継承を目的とするもので、この日は男性7名、女性1名が参加。ボランティアの方々が作ったてんぷらやかいもちと共に、自分たちが打ったそばの味を堪能しました。



勝利をめざして

4月29日、舟形中学校春季大運動会が行われました。今年のテーマは「颯爽奮起～奮い立て勝利への希望を抱いて～」です。

青組は「雲外蒼天」、赤組は「質実剛健」をスローガンに掲げて、快晴の青空の下、生徒たちは熱い戦いを繰り広げました。



舟中クリーン作戦 ～町をきれいに～

4月28日、舟形中学校の生徒のみなさんによる「町内クリーン作戦」が、県縦断駅伝競走大会の応援終了後に行われました。

これは、道路脇などのゴミを拾うことで町をきれいにしようという取り組みで、今年はアユパークを中心に行われました。



県縦断駅伝が通過

第60回山形県縦断駅伝競走大会が行われ、4月28日には舟形町を通過しました。沿道には舟形小・中学校の児童生徒をはじめたくさんの方が応援に駆けつけました。

新庄・最上チームは、初日4位、二日目10位、最終日9位、総合で9位という結果でした。舟形町からは山口大陽選手(町教委)が、初日の第2区(区間5位)、2日目の第4区(区間4位)を力走。キャプテンとしてチームをひっぱりました。



県民ゴルフ場がオープンしました

4月25日、県民ゴルフ場が今季のオープンを迎え、安全祈願祭を行いました。

ゴルフ場を運営する(株)山形ゴルフ倶楽部の高橋文夫社長は「舟形町のみなさまには、わが町のゴルフ場として愛情をもって利用いただきありがとうございます。」と挨拶しました。



春の花植え

4月24日、地域密着型介護老人福祉施設「ほなみ」脇の町道で、春の花植えが行われました。

これは、多面的機能支払交付金事業の一環として、舟形地域保全会(会員25名)が行なっているものです。

一緒に活動する方を募集中です。



ブックスタートが始まりました

4月22日、保健センターにおいて第一回ブックスタートが行われました。ブックスタートは、絵本を赤ちゃんの時から読み聞かせ始める活動で、主に3~4カ月の赤ちゃんを対象に、乳児健診で行なっています。

読み聞かせボランティア連絡協議会の大場千賀子さんによると、絵本の言葉を愛情をかけて語りかけることが大切だそうで、公民館等の絵本をもっと利用して欲しいとのことでした。



舟形町駐在所新築落成式

4月17日、新庄警察署舟形町駐在所の新築落成式が同駐在所で行われました。式では、太田正則新庄警察署長が「舟形と堀内の二つの駐在所を統合し、町の中心に置くことで、地域の防犯体制がより一層高まります。」と挨拶を述べました。

なお、舟形町駐在所には森昭彦警部補と峯田知幸巡査長の2名が駐在します。



町内会長会連絡会議・町内会長会議

4月16日、町内会長会議と町内会長会連絡協議会総会が中央公民館で開催されました。会議では奥山知雄町長から伊藤清紀さん(西堀町内会長)へ町内会長委嘱状が手渡されました。

前日15日には、衛生組合長会議と納税組合長会議も開催され、町民のみなさんが毎日を安心して暮らせるよう、町の施策についての質問や意見交換などが活発に行われました。



かもしかクラブ発会式

4月16日、ほほえみ保育園でかもしかクラブ発会式が行われ、今年入園した園児たちにかもしかクラブのバッジが贈られました。

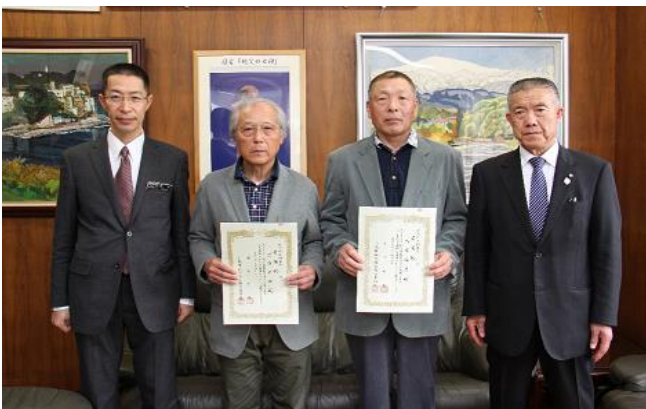
かもしかクラブのリーダー木島真紀さんから「かもしかクラブは、一つしかない大切な命を守るためのおべんきょうをすることで。みんなで交通ルールなどをおぼえていきましょう」と述べました。子どもたちは、道路の安全な歩き方、飛び出しの危険性、命を守る大切さを一年間かけて学んでいきます。



狂犬病予防接種

4月14日、15日の両日、町内各地で狂犬病の予防接種が行われました。

狂犬病予防法により、毎年1回必ず予防接種を受けなくてはなりません。今回受けることができなかった方のために、6月2日に2回目を予定しています。



自衛隊募集相談員が委嘱されました

4月13日、自衛隊山形地方協力本部から沼澤孝雄さん(舟形第3)、大場勝廣さん(内山)が、自衛隊募集相談員に委嘱されました。

奥山町長からは「町のため、日本のため、募集事業をよろしく頼みます。」と期待の言葉が送られました。



舟形小学校入学式

4月9日、舟形小学校で入学式が行われました。希望にあふれる45名の新入生に向けて、渡辺正校長は「賢く、優しく、たくましい子になれるように次の3つのことを頑張ろう。元気よくあいさつをしよう。良い本と友達になろう。汗が出るほど運動しよう。」とエールを送りました。

いよいよ楽しい学校生活が始まります。交通事故にあわないよう元気に学校に行きましょう。



舟形中学校入学式

4月8日、舟形中学校入学式が同校体育館で行われ、春の穏やかな日差しの中、新入生49名が新しい一歩を踏み出しました。

式では、在校生代表富樫太洋(とがしたいよう)さんから「あっという間の3年間なので、何か夢中になることを見つけたい」と、歓迎の言葉が送られました。



舟形町CMが完成

4月7日、舟形町観光PRのCMが完成し、試写会を保健センターで開きました。CMは昨年より町と東北芸術工科大学が連携して制作してきたもので、食と農」をテーマにした2作品を作成。

試写会には撮影に携わった町民の方など約30名が参加し、「人の心の温かさ、心の豊かさが感じられるCMだと思う。」と好評でした。CMは、町ホームページで見ることができます。なお、現在は観光ポスターを制作中とのことです。



おさがりクラブ・商工会から善意のお届け

4月6日、もがみ南部商工会の伊藤 宏 舟形事務所長から、舟形小学校と舟形ほほえみ保育園へ寄付金贈呈が行われました。

これは、子ども用品を町内で再利用する「おさがりクラブ」の利用者から寄せられた善意の寄付金などで、計4万円に上ります。

渡辺正校長と佐藤栄起園長は、「子どもたちのための図書購入に充てたい。」と話していました。



ほほえみ保育園入園式

4月6日、第8回舟形ほほえみ保育園の入園式が行われました。今年新しくみんなの仲間入りをする32名の園児を迎え、計138名(0~5歳児)でのスタートとなります。

新入園児たちはお兄さんお姉さんのたくさんの笑顔と祝福に迎えられました。



今年のスポーツ少年団の活動が開始されました

4月5日、B&G海洋センターでスポーツ少年団結団式が行われ、7団体89名が参加。わかあゆバドミントンスポーツ少年団の沼澤佑実さんと伊藤優翔さんが声高らかに宣誓を行いました。

終了後は、モンテディオ山形のフィジカル・コーチ3名を講師に迎え、スポーツトレーニング講習を実施しました。



消防団辞令交付式

4月1日、町消防団辞令交付式及び部長以上会議が舟形町中央公民館で行われました。今年入団した新人団員24名が、加藤憲彦舟形町消防団長に向かい、町の消防活動に尽力することを宣誓しました。



教職員辞令交付式

4月1日、舟形町中央公民館で舟形中学校ならびに舟形小学校教職員への辞令交付式が行われました。



オリジナルナンバープレートの交付開始

4月1日、原動機付自転車につけるめがみちゃんと清流小国川、町の魚でもある鮎がデザインされたオリジナルナンバープレートの交付が始まりました。

記念すべき交付第1号は庄司榮藏さん(太折)。「町外に出たときに、ナンバープレートで舟形町をPRできたらうれしいです」と話していました。



ハザードマップパネル展開催中

3月27日(金)～4月15日(水)の期間、中央公民館において、町内ごとに危険箇所をまとめた舟形町土砂災害・水害ハザードマップパネルを展示しています。

舟形町にも多くの土砂災害・水害危険箇所が存在しており、それらの存在を町民のみなさんにも広く知っていただき、万が一の災害の備えができるよう、ぜひご覧ください。展示終了後は、各町内会にパネルを贈呈します。また、お住まいの町内の縮刷版を全戸に配布しますのでご活用ください。